

【医療機関（入院病床有）ソーシャルワーカー調査票集計】 回答者 24 名

問 1：入退院の支援・調整について

（1）要介護（要支援）認定を受けている高齢者の入院時には、利用者様担当介護支援専門員から情報提供書等書面で適切な情報提供が行われていますか？

行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	行っていない	無回答
4	12	4	0	4

（2）その際、医療機関から適切な情報提供等を行っていますか？

行っている	ときどき行っている	あまり行っていない	行っていない	無回答
3	13	4	0	4

（3）利用者様が退院（転院）する場合、ちとせの介護医療連携の会が配布した『共通情報提供書』をご利用されていますか？

いつも利用している	ときどき利用している	あまり利用していない	利用していない	無回答
8	3	1	7	5

（4）医療機関における退院前カンファレンスが行わる際には、居宅介護支援事業所の介護支援専門員や介護保険施設のスタッフは参加されていますか？

いつも参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	参加していない	無回答
8	3	6	2	5

（5）退院時に、利用者・家族は病状について医師や看護師等から十分説明を受けて理解していると感じますか？

理解している	たいてい理解している	あまり理解していない	理解していない	無回答
0	16	3	0	5

（6）退院時は、居宅介護支援事業所や介護保険施設との円滑な連携がとれていますか？

とれている	おおむねとれている	あまりとれていない	とれていない	無回答
3	16	1	0	4

（7）居宅介護支援事業所や医療機関等の関係機関と連携をする上で、お困りのことはどのようなことですか？（自由記載）

- ・ 介護支援専門員の意向を押し付ける
- ・ 言語の違いに戸惑う。病院も介護支援専門員も時々本人（患者）不在の話がある。
- ・ 介護支援専門員の意見を強めに主張されることがある。それを医師や看護師の前で言われると困る。
- ・ 事業所によっては連携がとりにくいところがある。
- ・ 事業所ごとに書式が異なるのでどのような情報がどこに書いてあるか探すのに時間がかかってしまう。

- ・ 市内医療機関との連携はとてもスムーズだと思う。
- ・ 介護でできることと医療でできること双方が役割や立場を理解して連携することができない時があること
- ・ 入院したら終わりではなく患者さんのその先について一緒に考えて調整していけない時
- ・ 情報の集約化（病院はケアマネジャーに提供するが複数回のカンファレンス要請や各事業所との調整の依頼）
- ・ 医療機関からケアマネジャーに情報を渡すだけでなくケアマネジャー側から病院側に「訪問看護に渡して」や「デイサービスに渡して」など指定を受けたり、複数枚要求がある。
- ・ 入院が一番思われている節がある
- ・ 市民からケアマネジャーに連絡がいったケースで家まで見に行かず動けないという口頭での情報で相談がくること。
（入院になりますか？とか救急車呼んだ方がいいですか？など）
- ・ 転院にて入院された患者さんの入院前情報について居宅介護支援事業所に依頼すべきものなのか、転院元の病院からもらうべきなのか
- ・ 医師の意見書のやりとり
- ・ 訪問看護や福祉用具利用の要否について
- ・ 居宅によって書式がバラバラだったりする
- ・ 主治医の意見書に利用が望ましいとチェックがついていても訪問看護利用について書類は必要なのか
- ・ ケアマネジャーたちはお世話になりっぱなしなので困るということはありません。あえて言うならば、外来患者の場合こちらも全くかかわっていないことも多いので直接、外来看護師とやり取りしてほしいなと思うことはあります。
（伝言で良い内容や医師に伝えてほしい等の内容は特に…）
- ・ 各事業所で様式がバラバラであり統一されていない状況がある。もう少しその辺を調整してもらえればと思う。
- ・ 既往歴の漏れ…特に内科疾患について

問2：貴院が主治医の患者様が在宅生活（在宅療養）している時の介護保険事業所等との連携

（1）連携を強化したい職種は？（自由記載）

介護支援専門員	訪問看護師	医師	薬剤師	介護職員	特養相談員
13	4	2	2	1	1

（2）（1）の回答理由を教えてください。

介護支援専門員

- ・ 患者様の情報を持っているから
- ・ 情報提供・収集する際の要になっていただけるので
- ・ 訪問看護の指示書について病院は訪問看護に渡すが、その内容をケアマネジャーは知っているのか？
- ・ 積極的な情報共有のため
- ・ 一番情報を持っている職種だと思うので
- ・ 突然入院した場合や退院後の生活についての情報共有が必要なため
- ・ 家族の気持ちなど詳細を聞くことができる
- ・ 外来において内服状況や生活状況について情報が本人のみとなり適切な治療や支援に結びつかないケースがある
- ・ 患者様の在宅での生活の様子を詳しく知り、その情報を入退院の支援に繋げるため
- ・ 患者さんのことを一番理解されている職種だと思うので

- ・ チームとして必要と思うので
- ・ 本人のためになるから

訪問看護

- ・ 医療面については訪問看護が一番情報を持っている

医師

- ・ 医療面でのアウトリーチが対応できるため

特養の相談員

- ・ 入院ではないが泊りが必要な時にショートステイサービスを利用したいため

(3) 連携強化のために、研修会やケアカフェ等の機会があれば、参加したいですか？

参加したい	まあまあ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答
13	9	0	0	2

(4) 市内の他の機関と相談しやすい関係づくりはできていますか？

できている	まあまあできている	あまりできていない	できていない	無回答
7	12	1	1	3

問3：在宅診療について

(1) 在宅診療をしていますか？

している	していない	無回答
10	12	2

(2) 在宅診療をしていない理由はどのようなことですか？

- ・ 医師の体制が不十分である。外来、病棟だけで精一杯の状況
- ・ 医師の時間が取れないから
- ・ 当院の体制が整っていない

(3) 在宅診療や在宅での看取りについて、課題と考えるものはどのようなことですか？

- ・ 患者様のどうしてほしいという希望に対しての医師や看護師の対応がすぐに訪問にならないので対応に遅れが生じる
- ・ きちんと説明し理解を得たうえで導入しないとならない。
- ・ 「病院へ行けない」じゃなくて「在宅で過ごしたい」という気持ちがなければ失敗すると思います。
- ・ あくまでも、本人と家族を最優先とすべき
- ・ 自宅で看るといふことの家族への説明などが医療側からきちんとできていない場合がある
- ・ 緊急、急変時、レスパイトが必要になった時のバッグベッド
- ・ 施設（特養・老健）での看取りが可能になってほしい…それが困難な体制が課題と考える
- ・ BPSD 症状憎悪時
- ・ 入院対応が即時対応したくてもできないことがある
- ・ 先生の忙しさ

- ・ バッグベッド側、家族、先生、介護保険事業者それぞれの役割、今後の流れの理解がイマイチ
- ・ バッグベッドの問題
- ・ 在宅診療から医療機関への入院へと希望が変わった時の対応（キーマンは誰なのか）
- ・ 診療の日程、回数が制限されてしまうこと
- ・ 回数が増えるごとに費用が高額になってしまうこと
- ・ 緊急時の対応について
- ・ 看取りに対して本人、ご家族の気持ちの変化に合わせて都度対応を変えていくことができるのか
- ・ 家族の覚悟
- ・ ご家族の介護力と協力がどの程度できるのか

問4：急変時の対応について

(1) 急変時の対応について、介護支援専門員と情報共有・連携ができていますか？

できている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	無回答
1	8	9	3	3

(2) 在宅生活されている患者様の夜間や休日の急変時について課題と感ずることはどのようなことですか？（自由記載）

- ・ 入院になったら病院任せになっている。
- ・ 千歳市の問題
- ・ 協力医療機関として契約している施設の二次は優先している
- ・ すぐに担当の職員が駆けつけることができないこと
- ・ 事前に急変時に対応を決め家族含め関係者で共有していたが急変時に遂行されずに混乱を招くことがあった。
（訪問看護指示書にも休日の対応先の記載があったが…）スムーズな対応ができるようにしていく必要性を感じる。
- ・ 診療時間外の受け入れ要請に対する対応が困難なことへの理解
- ・ 救急車でもなく相談員に Tel して来られることがある。→焦ってどこに相談しなければならないかわからなくなる
- ・ 入院していたなど、つながりがあれば時間外でも入院するのは難しくないと思われる
- ・ 精神科救急対応できる医療機関が管内にない（札幌の精神科病院が輪番制をとっている）
- ・ 精神科救急対応の病院が市内にない
- ・ どの病院に搬送されるのか、その家族の不安、受け入れる病院の気持ち
- ・ ご家族が遠方、もしくは身寄りのない方の場合、情報共有に当たって連絡先など
- ・ 「病院はこのくらいなら」と思うが「在宅はこれなら大変だ！」となる温度差
- ・ なぜ早く受診させないのか？待つことの意味はあるのか？

(3) 担当介護支援専門員がいる患者様の病状が急変した際に、対応に苦慮したことはありますか？

ある	ときどきある	あまりない	ない	無回答
3	7	5	6	3

(4) (3)で「ある」と回答された方はどのようなことで苦慮しましたか？

- ・ 患者をよく知らない
- ・ 連絡が取れない
- ・ 対応に時間がかかる
- ・ 体動困難で入院希望と救急搬送されたり事前連絡なくくるケースがあるが来た時点では普通に動いている。
- ・ 本人・家族からケアマネジャーに体調不良の連絡がありその情報のみで入院依頼。詳細を聞くと本人に会いに行っておらず、病院から見に行ってもらいたいと言われ対応困難。
- ・ 退院後、数日で調子が悪くなった時、当番ではなく、当院に連絡してもらえる（時間外）
- ・ 「救急車を呼んで受けてくれますか？」という質問はなぜ？一刻を争うなら早く呼ぶべき…その時間があるなら急変と言えないこともあるのではないか
- ・ 入院が必要な状態としてご相談を受けても、すぐにベッドコントロールができないことがあり、時間をいただいしまう。

(5) 現在の急変時の医療体制で課題と感ずることはどのようなことですか？

- ・ すべての係る人の共通理解
- ・ 在宅で生活されている患者様が夜間・休日に急変があった場合の対応を検討しなければならない
- ・ 医療機関の受け入れ体制
- ・ 平日診療終了後～19:00 までの対応
- ・ かかりつけに入院を希望してもベッド状況やその日の当番診療科目によっては受け入れられないこと。
- ・ どこまでどのようにすべきかを十分話されていない。医療と介護の連携は必要だけど、「それは医療で…」となるとなぜそこまで介入していないのかと思うことがある。「病院に入院したから安心しました」という時の主語は誰？